

主な事業内容

1. 法人運営事業

(1) 理事会の開催

社会福祉法人として適正な運営と事業の推進を図るため、理事会を適時開催しました。

第1回 令和2年5月25日

- ①令和元年度事業報告及び決算
- ②評議員補充選任候補者の推薦について
- ③令和2年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について
- ④令和2年度第1回評議員会の招集について

出席理事 10人 出席監事 1人

第2回 令和2年11月18日

- ①第48回社会福祉大会の開催について
- 会長・常務理事の職務執行状況報告

出席理事 12人 出席監事 1人

第3回 令和3年3月26日

- ①事務局職員就業規程の一部を改正する規程の制定について
- ②職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
- ③顕彰規程及び顕彰規程施行細則の一部を改正する規程の制定について
- ④令和2年度資金収支補正予算（第1号）
- ⑤令和3年度事業計画及び資金収支予算
- ⑥令和2年度第2回評議員会の開催について

会長・常務理事の職務執行状況報告

出席理事 13人 出席監事 2人

(2) 評議員会の開催

社会福祉法人として適正な運営と事業の推進を図るため、評議員会を適時開催しました。

第1回 令和2年6月19日（書面によるみなし決議）

- ①令和元年度事業報告及び決算
（書面によるみなし決議）

- ②理事の補充選任について

第2回 令和2年3月26日（書面によるみなし決議）

- ①令和2年度資金収支補正予算（第1号）
- ②令和3年度事業計画及び資金収支予算
- ③理事の補充選任について

（書面によるみなし決議）

(3) 監事による決算監査

法人運営の適正化を図るため、定期監査を実施しました。

令和2年5月7日 出席監事 2人

(4) 社会福祉基金の管理

社会福祉基金の適正な管理に努めました。

前年度末残高 40,294,086円

利息 4,602円

当年度末残高 40,298,688円

主な事業内容

(5) たかはぎFMで福祉情報番組「福祉たかはぎ」を放送

社協事業や社協支部活動、ボランティア活動等の情報提供を行いました。
放送時間帯 月曜日から金曜日の午後0時20分前後(5分程度)

(6) 社協広報紙「福祉たかはぎ」発行

社協広報紙「福祉たかはぎ」にて、社協事業や福祉情報等を住民に発信し、啓発を行いました。
年4回発行(第100号～第103号)

(7) ホームページの運営 (<http://www.takahagi-shakyo.jp/>)

社協ホームページにて、社協事業や福祉情報等を住民に発信し、啓発を行いました。

(8) 第4次地域福祉活動計画策定委員会の開催

地域福祉を市全域で一体的に進めていくため、高萩市と協働で策定した地域福祉活動計画の進行管理を行いました。

①策定委員 11人

②委員会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和3年3月26日(高萩市地域福祉活動計画策定委員に書面報告)

第2期高萩市地域計画及び第4次高萩市地域福祉活動計画の点検・評価について

2. 地域福祉推進事業

(1) 社協支部役員研修会の開催

社協支部との連携と活性化を目的に研修会を開催。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 社協支部活動費交付金の交付(29支部)

社協支部が行う地域福祉活動に対し、活動費を交付しました。

第1種会員会費 3,313,900円×80%=2,651,120円

(3) 社協支部事務費交付金の交付

社協支部に対し、事務費を交付しました。

15,000円×29支部=435,000円

(4) 社協支部敬老行事事業助成金の交付

社協支部が行う敬老行事の実施に対して助成金を交付しました。

23支部 計 444,000円

主な事業内容

(5) 在宅高齢者等支援事業助成金の交付

社協支部が行う配食サービス、友愛訪問、ふれあいいきいきサロン事業実施に対して助成金を交付しました。

支部名	内容			金額(円)	
	配食サービス	友愛訪問	ふれあいいきいきサロン		
1	社協高萩支部	-	○	-	34,000
2	社協安良川支部	○	○	-	85,638
3	社協東地区南支部	○	-	-	71,875
4	社協東地区北支部	-	○	-	18,500
5	社協島名下支部	-	○	-	5,590
6	社協向洋台支部	-	-	○	4,200
7	社協秋山上北方支部	-	○	-	1,129
8	社協秋山中支部	-	-	○	19,857
9	社協秋山下支部	-	○	-	2,730
10	社協山手地区北支部	○	○	-	97,439
11	社協石滝支部	-	○	-	6,500
12	社協行人塚石河原支部	-	○	○	8,192
13	社協上手綱下組支部	-	○	-	12,501
14	社協上手綱南組支部	-	○	-	8,294
15	社協上手綱北組支部	-	○	-	16,500
16	社協山手地区南支部連協	-	○	-	57,615
計		3	13	3	450,560

(6) 85歳者敬老祝品(タオル)の贈呈

社協支部の協力のもと85歳者に対し、敬老祝品バスタオルを贈呈しました。

贈呈対象者 219人

(7) 児童養護施設入所児就職・進学支度金支給

児童養護施設に入所する児童に対し、就職進学支度金を支給しました。

50,000円×(就職2人)=100,000円

(8) 地域福祉活動事業補助金の交付

地域福祉の推進を図るため、社協と協働・連携して事業を行う団体に対し、交付しました。

団体名(事業内容等)	金額(円)
高齢者クラブ連合会(スポーツ大会、高齢者福祉大会)	60,000
母子寡婦福祉会(母子草購読料)	30,500
遺族会	20,000
計	110,500

主な事業内容

(9) 災害見舞金の支給

市民が災害を受けたときに被災者に対して災害見舞金を支給し、市民の生活安定と福祉の増進を図りました。

区分		件数	金額 (円)
火災	全焼	2	40,000
	死亡	0	0
計		2	40,000

(10) 第 48 回高萩市社会福祉大会の開催

社会福祉事業に功労のあった者、社会福祉活動が優秀な社会福祉団体及び社会福祉活動に協力援助した功績顕著な者を顕彰しました。

①顕彰 高萩市社会福祉協議会会長表彰

- ・ 民生委員児童委員 1人
 - ・ 社会福祉協議会役員及び支部役員 9人
 - ・ 社会福祉施設の職員 20人
 - ・ 社会福祉団体の役員 4人
 - ・ 個人及び団体会員 4人
- 受賞者 38人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため式典・アトラクションは中止

(11) 第 70 回茨城県社会福祉大会への参加

社会福祉事業に功労のあった者、社会福祉活動が優秀な社会福祉団体及び社会福祉活動に協力援助した功績顕著な者が顕彰されました。

茨城県知事表彰 受賞者 16人

茨城県社会福祉協議会会長表彰 受賞者 17人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため式典・アトラクションは中止

(12) 高萩市総合防災訓練に参加

高萩市総合防災訓練の実施に合わせて、災害ボランティアセンター設置訓練を実施。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(13) コミュニティサロン支援事業

サロンの立上げや運営に関する相談のほか、活動費の助成や支援を行いました。

	サロン名	開催場所	金額 (円)
1	野の花サロン	和野集会所	15,000
2	下組サロン	下組生活改善センター	12,500
3	しましまサロン	向洋台集会所	23,998
4	高浜ハッピーサロン	高浜住宅集会所	25,527
5	サロンはまなす会	駒形集会所	30,000
6	友遊千代町サロン	千代町集会所	20,000
7	サロンアジサイ会	千代田集会所	22,500
8	サロンさわらび	代表自宅 (中戸川)	20,000
9	まちなかサロン	高萩やすんでっ亭	5,000
10	サロンはぎのさと	副代表自宅 (高戸)	18,050
合 計			192,575

コミュニティサロン交流研修会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

主な事業内容

(14) 共同募金配分調査

民生委員の協力により、共同募金配分世帯等の調査を実施しました。

(15) 歳末たすけあい募金配分金

支援を必要としている世帯等への見舞金や年末年始に交流事業等を実施した団体に対して配分を行いました。

対 象	対象者数等	金額(円)
支援を必要としている世帯	4 世帯	40,000
児童養護施設入所児	62 人	311,980
歳末福祉対策事業	29 支部・1 連協	1,111,160
社会福祉施設餅米配分経費	市内 10 施設	29,885
福祉団体支援事業	6 団体	232,310
福祉情報提供(広報)事業		698,316
計		2,423,651

(16) 低所得世帯等に対する小口生活資金の貸付及び援助指導

福祉相談窓口として、生活不安を抱える低所得世帯の経済的自立を支援するため、福祉資金貸付の適正な実施に努めました。 相談 0 件、貸付 0 件 (貸付金 0 円)

(17) 生活福祉資金の貸付相談及び状況調査 (県社協受託事業)

貸付相談窓口として、生活福祉資金貸付相談の適正な実施に努めました。また、民生委員の協力のもと貸付者の状況調査を実施しました。 貸付相談 5 件、貸付件数 0 件 (貸付金 0 円)

(18) 生活福祉資金の新型コロナ特例貸付の貸付 (県社協受託事業)

貸付相談窓口として、特例貸付相談の適正な実施に努めました。
貸付件数 391 件 (貸付金 130,810,000 円)

(19) 生活支援体制整備事業

日常生活上の支援体制の充実及び高齢者の社会参加の促進を図っていく、生活支援体制整備事業の第 2 層協議体運営業務を実施しました。

①第 2 層協議体 (秋山中学校区) 総合福祉センター研修室

第 1 回 令和 2 年 11 月 16 日 参加者 (協議体メンバー 8 人、高齢福祉課職員 3 人、社協職員 2 人)

②第 2 層協議体 (松岡中学校区) 総合福祉センター研修室

第 1 回 令和 2 年 11 月 16 日 参加者 (協議体メンバー 8 人、高齢福祉課職員 3 人、社協職員 2 人)

③第 2 層協議体 (高萩中学校区) 総合福祉センターボランティア室

第 1 回 令和 3 年 3 月 22 日 参加者 (協議体メンバー 7 人、高齢福祉課職員 2 人、社協職員 3 人)

主な事業内容

3. ボランティア活動推進事業

(1) 社協ボランティアセンター運営委員会の開催

地域におけるボランティア活動の振興と市民の善意を適正かつ効果的に活用するため、運営委員会を開催しました。

第1回 令和2年7月30日

- ①委員長・副委員長の選任について
- ②令和元年度善意銀行預託及び配分実績報告について
- ③令和2年度善意銀行預託及び配分中間報告について
- ④令和2年度善意銀行配分について

第2回 書面表決 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ①令和2年度善意銀行預託及び払出状況報告について
- ②令和2年度事業及び決算見込報告について
- ③令和3年度事業計画及び予算について(案)
- ④令和3年度善意銀行配分(各種団体の事業)について(案)

(2) 善意銀行預託者(香典返しの一部)への回転灯籠、線香贈呈

預託者(香典返しの一部)に、故人の新盆前に線香の贈呈をしました。

線香1件 回転灯籠0件

(3) ボランティア活動保険料助成

ボランティア活動保険の加入受付及び保険料の助成を行いました。

プラン	加入者数(人)	市社協助成(円)	加入者負担(円)	合計(円)
基本タイプ	457	45,700	114,250	159,950
天災タイプ	3	300	1,200	1,500

(4) 児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校の指定と支援

社会福祉の理解と関心を高め、ボランティア実践、社会連帯の精神を養成するため、児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校を指定し、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会への啓発を図りました。

指定校9校(市内小学校4・中学校3校・高校2校)

(5) 小学生福祉体験学習の開催

小学生を対象に社会福祉への理解と関心を高め、福祉の芽を育てることを目的に開催。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(6) 中学生福祉体験学習の開催(障がい者サポーター養成講座同時開催)

中学生を対象に社会福祉への理解と関心を高め福祉の芽を育てることを目的に開催。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(7) ボランティア連絡会への補助及び協力

ボランティア連絡会に補助金を交付し、ボランティア活動の活性化を図りました。

①視察研修の実施

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②福祉のまちづくり研究集会(ボランティア交流会)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③新型コロナウイルス感染症対策

衛生用品の配布(アルコール消毒液、非接触型体温計、フェイスシールド)

主な事業内容

(8) ボランティアグループ活動費助成

ボランティアグループに助成金を交付し、ボランティア活動の活性化を図りました。

	ボランティアグループ名	助成金 (円)
1	たかはぎ食事サービスグループ	12,900
2	たかはぎ読み聞かせグループ	10,900
3	高萩手話サークル	11,200
4	たかはぎ点訳友の会	11,000
5	ボランティアグループ歩みの会	10,900
6	高萩レインボーおはなしの会	10,600
7	高萩市高校生会	11,700
8	傾聴よりそいグループ	11,300
	計	90,500

(9) ボランティア入門講座

ボランティア活動へのきっかけづくり、ボランティア活動に対する理解を深めていただくためにボランティア入門講座を開催。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(10) 障がい者サポーター養成講座

養成講座を通して、障害のある方の立場になって考えるとともに、そのサポート方法を学ぶことで、障害に対する理解を深めることを目的として、市社会福祉課と共催で開催しました。

①令和2年4月14日 参加者 市新任職員13人

(11) ふくしボランティアまつりの開催

まつりを通して、ボランティア活動や福祉活動への理解と交流の場を提供することを目的として開催。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(12) 防災ボランティア研修会の開催（日本赤十字社茨城県支部高萩市地区と共催）

災害時に必要な知識や技術をもって対応していただける防災ボランティアを養成することを目的として開催。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(13) 音訳・点訳広報等発行事業

市内の視覚障がい者等に市報、議会だより、福祉たかはぎを音訳、点訳して情報提供しました。

音訳サービス 高萩読み聞かせグループ 利用者6人

点訳サービス たかはぎ点訳友の会 利用者3人

(14) 総合学習等への講師派遣

総合学習の時間等に登録ボランティアグループ、社協職員を派遣し、福祉体験学習を実施しました。

・市新任職員研修へ職員派遣

主な事業内容

(15) 福祉体験用具の貸し出し

福祉体験学習等を実施する学校や団体等に体験用具の貸し出しを行いました。
車イス、シニア体験セット、視覚障がい者体験セットの貸し出し1件（市総務課）

(16) 手作りマスクボランティア製作・配布事業

ボランティアを募集し手作りマスクを製作。社協支部やボランティア、福祉施設の協力を得て配布しました。

令和2年5月～8月

- ・製作ボランティア 75 人
- ・製作枚数 2,327 枚、寄附枚数 606 枚
- ・配布枚数 2,460 枚、備蓄枚数 473 枚
- ・配布先：配食サービス利用者、ボランティア、支部事業対象者、支部役員、社会福祉施設、児童養護施設

(17) 新型コロナウイルス感染症対策支援事業

社協支部やコミュニティサロンに対し、新型コロナウイルス感染予防を図りながら、安心安全に活動できるようマスク、アルコール消毒液、非接触赤外線温度計等の衛生用品を支給しました。

社協支部 29 支部、コミュニティサロン 11 団体

(18) 善意銀行運営事業

市民の善意を適正かつ効果的に活用するため、適正な運営に努めました。

(預託)

区 分	件 数	金額(円)
金員	24	495,816
物品※	7	—
計	31	495,816

※未使用タオル、もち米、マスク、非接触式電子温度計、フェイスガード、紙オムツ、車椅子、フェイスタオル、ボールペン

(配分)

区 分	件数	金額(円)
社会福祉団体等		
より道サロンケセラセラ	1	5,600
社協事業		
心配ごと相談所運営費	1	412,650
在宅福祉サービスセンター運営費	1	355,446
愛の鐘（たつご味噌）修繕費	1	113,000
85歳者敬老祝品（タオル）の贈呈	53	81,028
手作りマスクボランティア製作・配布事業	1	255,805
計	58	1,223,529

前年度末残高 7,219,700 円
 預託金 495,816 円
 配分金 1,223,529 円
 当年度末残高 6,491,987 円

主な事業内容

- (19) 使用済み切手、使用済みプリペイドカード、プルタブ、ペットボトルキャップの収集
 市民や学校、企業、団体の方々より、多くの物品の収集にご協力をいただきました。
 使用済み切手と使用済みプリペイドカードは、茨城県社会福祉協議会へ、プルタブとペットボトルキャップは、回収業者を通して、ボランティア活動や社会貢献活動に協力しました。

4. 在宅福祉サービス推進事業

(1) 暮らしに活かす介護講習会

福祉・介護分野に関する知識や技術を提供し、福祉・介護人材の参入促進を図る。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 「食」の自立支援サービス事業（配食サービス事業）

たかはぎ食事サービスグループと運転ボランティアの協力のもと、おおむね 65 歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、月に 1 回ボランティアの手作りによるお弁当を提供するとともに利用者の安否確認を行いました。

実施状況 年間実利用者数 163 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月
利用者数	127	124	120	125	126	128
利用料金	17,900	17,600	16,800	17,300	17,400	17,400

11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
123	126	123	133	134	1,389
16,900	17,400	17,500	18,700	19,200	194,100

(3) 在宅福祉サービスセンター運営事業

住民参加による支え合い活動として、利用会員・協力会員の登録によるサービスの実施とコーディネーターによる相談・調整支援を実施しました。

①会員・利用者の構成

登録協力会員(人)	登録利用会員(人)	実利用者(人)
37	133	16

②利用状況

サービス名	在宅福祉サービス	
	回数	時間
掃 除	177	196
買 物	39	39
食 事	73	73
通院・外出付添い	27	48
計	316	356

③協力会員研修会

第 1 回 日時 令和 2 年 4 月 17 日(金)

場所 高萩市総合福祉センター2 階研修室

内容 赤十字幼児安全法短期講習（こどもの一次救命処置を学ぶ）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④事務局体制 在宅福祉サービスセンターコーディネーター 1 人

主な事業内容

(4) ファミリーサポートセンター事業

住民参加による支え合い活動として、利用会員・協力会員の登録によるサービスの実施とアドバイザーによる相談・調整支援を実施しました。

①会員・利用者の構成

登録協力会員(人)	登録利用会員(人)	実利用者(人)
39	42	4

②利用状況

サービス名	在宅福祉サービス	
	回数	時間
保育施設等までの送迎	69	36
乳幼児、児童の一時預り	26	52
※その他子育て支援として適当と思われるもの	33	39
計	128	127

※利用会員宅での乳児の世話や家事支援

③協力会員研修会

第1回 日時 令和2年4月17日(金)

場所 高萩総合福祉センター2階研修室

内容 赤十字幼児安全法短期講習(こどもの一次救命処置を学ぶ)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④事務局体制 ファミリーサポートセンターアドバイザー 1人

5. 心配ごと相談所運営事業

(1) 心配ごと相談所運営事業

市民の生活上の様々な相談を受け、必要に応じて関係機関を紹介するなど、適切な助言、援助を行いました。

①開設日 毎月2回 木曜日(内月1回弁護士相談)

一般相談 5回、法律相談 12回

②相談員 民生委員児童委員4人、弁護士3人

③相談内容

相談事項	生計	住宅	家族	離婚	財産	事故	障害者児	母子父子	計
相談件数	3	7	5	6	28	2	1	1	53
(内弁護士相談件数)	3	7	4	6	26	2	0	0	48

主な事業内容

6. 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分で、かつ親族等の援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預りサービスなどを行い、自立した地域生活が送れるよう在宅での日常生活を支援しました。

①実施利用状況

○相談援助件数(問い合わせ・相談援助件数)

認知症高齢者等 109 件・知的障がい者等 25 件・精神障がい者等 18 件・不明、その他 0 件
計 152 件

○契約締結件数 1 件

○終了件数 0 件

○実利用件数 (3 月末日現在)

認知症高齢者等 3 件・知的障がい者等 1 件・精神障がい者等 1 件 計 5 件

②事務局体制

専門員 1 人、生活支援員 2 人

7. 子どもの学習支援事業

(1) 子どもの学習支援事業

生活困窮世帯等の児童・生徒に対し、学習支援や進学に関する助言等について、ボランティアの講師が、毎週 1 回、市中央公民館会議室で実施しました。

①実施利用状況

○実利用者(生徒)数 28 人

学年	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	計
生徒数	5	3	1	11	6	8	34

○延利用者数 348 人

実施月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
延利用者数	—	—	—	55	58	45	48

11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
40	40	8	—	54	348

○ボランティア講師 11 人

○実施回数 年 31 回

主な事業内容

8. 介護保険事業

(1) 訪問介護事業

利用者が有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活が営むことが出来るよう利用者の選択により、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

①契約者数 55人

②提供時間 身体介護 714 時間、生活援助 2974.45 時間、身体生活 948.45 時間

③ホームヘルパー研修会開催及び参加

○内部研修

第1回	令和2年	4月16日	ケースカンファレンス	出席者 9人
第2回	令和2年	6月11日	ケースカンファレンス	出席者 9人
第3回	令和2年	7月16日	ケースカンファレンス	出席者 10人
第4回	令和2年	9月17日	ケースカンファレンス	出席者 9人
第5回	令和2年	10月15日	ケースカンファレンス	出席者 9人
第6回	令和2年	11月19日	ケースカンファレンス	出席者 12人
第7回	令和2年	12月7日	ケースカンファレンス	出席者 11人
第8回	令和3年	3月18日	ケースカンファレンス	出席者 13人

④事業所体制 サービス提供責任者 2人、ホームヘルパー13人

⑤訪問介護事業等経営基金の管理

ホームヘルプサービス事業所及び指定居宅介護支援事業所が行う訪問介護事業所等の健全な経営に努めました。

前年度末残高	12,050,977 円
利息	1,205 円
当年度末残高	12,052,182 円

(2) 居宅介護支援事業

利用者並びにその介護者等の日常生活支援のため、関係機関、事業所と連携し、適正なケアプランの作成に努めました。

また、予防プランの作成及び、要介護認定調査を受託事業として実施しました。

①指定居宅介護支援事業

○介護支援 ケアプラン策定者数 51人

○介護予防 介護予防ケアプラン策定者数 17人

○令和2年度新規契約者数 17人

○他市町村被保険者認定調査数 1人（水戸市1人）

②事業所体制 介護支援専門員 1人

主な事業内容

9. 障害福祉サービス事業

(1) 障害福祉サービス事業

障がい者が、居宅において日常生活を営むことが出来るようその障がい者の状況及び環境に応じて、身体介護やの家事援助等のサービスを提供しました。

①障害福祉サービス事業

○契約者数 3人

○提供時間 身体介護 135時間、家事援助 400時間

②障害者等移動支援事業

○契約者数 0人

○提供時間 移動支援 0時間

③内部研修

第1回	令和2年	4月16日	ケースカンファレンス	出席者 9人
第2回	令和2年	6月11日	ケースカンファレンス	出席者 9人
第3回	令和2年	7月16日	ケースカンファレンス	出席者 10人
第4回	令和2年	9月17日	ケースカンファレンス	出席者 9人
第5回	令和2年	10月15日	ケースカンファレンス	出席者 9人
第6回	令和2年	11月19日	ケースカンファレンス	出席者 12人
第7回	令和2年	12月7日	ケースカンファレンス	出席者 11人
第8回	令和3年	3月18日	ケースカンファレンス	出席者 13人

④事業所体制 サービス提供責任者2人、ホームヘルパー13人